

## シラバス / Syllabus

• プログラム名	SEND Online プログラム
• 担当教員	筒井 久美子 (e-mail: ktsutsui@apu.ac.jp / 研究室 B 棟 420 / オフィスアワー:月曜 2 限オンライン)
• 実習地	日本
• 開講年度	2020 年度
• 成績付与 セメスター	2020 年度 秋セメスター
• 科目	特殊講義(共通教養科目)
• 開講言語	・ 日本語 [実習で使用する場合があります] ・ 英語 ・ ベトナム語
• 単位数	2 単位 -セメスターの登録可能単位数の上限に含まれません。
• プログラム概要	本オンラインプログラムは、海外インターンシッププログラム SEND の意志を受け継ぎ、ベトナムの日本語学習者の学びを促進し、自身の異文化理解を深め、日本と他国の架け橋となる人材育成を目指す。新型コロナウイルスの感染拡大で、多くの海外プログラムが中止となり、国際的な交流が閉ざされている。本プログラムでは、限られたリソースを駆使し、どのように学びや国際交流を継続させることができるのか模索する。受講生はベトナムの大学生とのディスカッションを通し、異文化理解を深め、日本語学習者のために何ができるかを考え、それらを提供することにより、グローバルな関係を構築し、自分自身の目標と成長につなげることが求められる。さらに、オンライン・ホームステイに参加し、それぞれの家族や日常風景を報告しあい、ステイ先の家族と親睦を深める。
• プログラムの ねらい	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 日本文化紹介や日本語会話練習などのオンラインワークショップを企画運営し、ベトナムの日本語学習者と友好関係を構築する。</li> <li>(2) ベトナムの大学に通う日本語学習者やオンラインホームステイ先の文化的背景に対する学びを深め、異文化理解と異文化コミュニケーション能力を向上させる。</li> <li>(3) ワークショップの準備や交流を通して内省的な考察を行い、他者と自己および他文化と自文化に対する理解を深める。</li> <li>(4) 授業やワークショップ・ホームステイを通して、目標設定と伸ばしたい能力、それに繋がる具体的な行動について考え、将来の目標設定や具体的な活動に繋げる。</li> </ol>
• 履修の目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本語を母語とする者。</li> <li>● 授業、オンラインワークショップ、オンラインホームステイに全て出席できる者。</li> <li>● ベトナムに興味がある者。</li> <li>● 申請時点で第 2 セメスターから第 7 セメスター生。</li> <li>● 日本と APU を代表し、責任を持って活動ができる者。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プログラムの趣旨・目的を理解し授業とオンライン活動に対して真摯に励む者。</li> <li>● 異文化を受け入れ、理解を深めながら能動的に他者と関わることができる者。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 到達目標</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学びの目標や自己成長の目標を立て、国際的な交流が制限されるなかで何ができるかを考え、それらを達成する。(自己成長)</li> <li>2. 日本語学習者、もしくは日本に興味のある人が対面的交流が閉ざされる中で何を必要としているのか、もしくは何を欲しているのかを見つけ、自分がどのように人の役に立つことができるのかを考え、行動することができる。(貢献力)</li> <li>3. 異文化間コミュニケーションの理論を理解し、ベトナムの日本語学習者とのディスカッションやワークショップで応用することができる。(異文化間コミュニケーション能力)</li> <li>4. チームで協力して、本プログラムの目標を達成できるよう働きかけることができる。(チームワーク)</li> <li>5. ベトナムの大学生とディスカッションやワークショップで交流し、関係を構築することができる。(グローバルな人間関係)</li> <li>6. 交流やイベントに対して、失敗を恐れず積極的に情報を収集・発信し、準備・行動・実践することができる。(挑戦意欲・主体性)</li> </ol>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業方法</li> </ul>	<p>グループディスカッション・グループプロジェクト</p> <p>[授業]</p> <p>本プログラムの目的を達成するために、自分たちは何ができるのか考えると同時に、日本語学習者が何を求めているのか検証するためにアンケート調査を行う。そして、どのような人を対象に何ができるのか企画する。また、本プログラムを通して自己成長を促進するために、自分の伸ばしたい能力を明確にし、目標を設定する。</p> <p>[グループプロジェクト：オンラインワークショップ企画実施]</p> <p>グループワークとオンラインワークショップについて、内省的な考察を行う。他者と自己に対する理解を深め、自分の活動を振り返り自己成長につなげる。また、他の学生のリフレクティブジャーナルを読み、コメントすることにより、お互いの学びを共有し、支え合い、高め合う「学びのコミュニティー」を形成する。</p> <p>[事後授業]</p> <p>ベトナムの日本語学習者とのディスカッションやグループワーク、ワークショップを通しての学びや葛藤、どのように能力を伸ばしたのかについて共有することにより、それぞれの経験を今後どう使い、伝え、活かしていくのか話し合い、次への挑戦につなげる。</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ルーブリック課題①～④ <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 自分の伸ばしたい能力を明確にしたうえで目標を設定し、それを達成できたかどうか評価する。</li> </ul> </li> <li>● リフレクティブジャーナル&amp;コメント</li> </ul>

- ベトナムの日本語学習者とのディスカッションやグループワーク、ワークショップ、オンラインホームステイに関する振り返りを書く。また、他の学生（1回につき少なくとも2人）の振り返りを読んでコメントを書く。

- オンラインワークショップ

- インタビュー（個人）
- アンケート（実施前・実施後）
- オンラインワークショップ企画書
- グループ発表

- 振り返りレポート

- プログラム全体を振り返り、学んだことを今後につなげる。

*[多文化協働学修に関する環境と手法]*

事前授業および事後授業では、ペアやグループになってディスカッションやプレゼンテーションをする機会が多くある。また、オンライン交流イベントでは、グループで一丸となりそれぞれが責任を持って取り組むことが求められる。

- スケジュール

[事前授業]

	日時	授業内容	課題 (全て manaba 提出)
1	12/9 (水) 4 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アイスブレイキング</li> <li>● 授業概要の説明</li> <li>● 「グローバルな人間関係」について</li> <li>● APU ルーブリックについて</li> <li>● オンライン・ホームステイについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ルーブリック課題①</li> <li>● オンライン・ホームステイの候補者への自己紹介</li> </ul>
2	12/16 (水) 4 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人の目標設定</li> <li>● このプログラムを通して何がしたいのか、できるのかについてのブレインストーミング</li> <li>● ベトナムの日本語学習者とのグループディスカッション① [自己紹介、なぜ日本語を学んでいるのか（ベトナム人学生）、なぜ日本語学修サポートを行いたいのか・ベトナムに興味をもっているのか（日本人学生）、日本語学習で難しいところや日本のどいうところに興味があるか、どういことを知りたいかについてのインタビュー]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ルーブリック課題②</li> <li>● ワークショップに関する追加インタビュー、まとめ</li> </ul>

	3	12/23 (水) 4限	<ul style="list-style-type: none"> <li>異文化間コミュニケーション（異文化とは）</li> <li>ベトナムの日本語学習者とのディスカッション② [日本やベトナムのイメージ、大学生活、今流行りの若者文化などについて]</li> <li>ワークショップに関するヒアリングの分析</li> <li>提供するオンライン交流のブレインストーミング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ループリック課題③</li> </ul>
	4	12/23 (水) 5限	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ内容の決定</li> <li>ワークショップ担当グループの決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップに関するリサーチ（個人課題）</li> <li>リフレクティブジャーナル①：オンラインホームステイ①</li> </ul>
	5	1/13 (水) 4限	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームビルディング</li> <li>ワークショップ内容のブレインストーミング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リフレクティブジャーナル②：グループワーク</li> </ul>
	6	1/13 (水) 5限	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ企画書</li> </ul>
	7	1/20 (水) 4限	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ企画発表①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リフレクティブジャーナル③：グループ発表</li> </ul>
	8	1/20 (水) 5限	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ企画発表②</li> <li>オンライン参加者募集の方法・広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップの広報</li> </ul>
	9	1/27 (水) 4限	<ul style="list-style-type: none"> <li>異文化間コミュニケーション（言語・非言語）</li> <li>ベトナムの日本語学習者とのディスカッション③ [それぞれの文化を表すことわざや言語表現、非言語について]</li> <li>ワークショップにおける問題点とその解決策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リフレクティブジャーナル④：オンラインホームステイ</li> <li>ワークショップ参加者への Zoom ID などの通知</li> </ul>
	10	2/17 (水) 4限	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ企画・リハール</li> <li>ワークショップ参加者への Zoom ID などの再通知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ループリック課題④</li> </ul>
	11	2/17 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ企画・リハール</li> </ul>	

		5 限	サル ● 参加者アンケートの作成													
	12	2/20 (土)	● オンラインワークショップ実施 (4 グループ)													
	13	2/21 (日)	● オンラインワークショップ実施 (3 グループ)	● 参加者アンケートの集計												
	14	2/22 (月) 3 限	● 振り返り	● ルーブリック課題④ ● 事後アンケート ● 事後レポート												
<p>「ベトナムの日本語学習者とのディスカッション」の協力校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Hanoi University of Industry (ハノイ工業大学)</li> <li>● Hanoi University of Technology (ハノイ工科大学)</li> <li>● University of Economics &amp; Finance (UEF)</li> <li>● National University of Hanoi</li> </ul> <p>(一部スケジュール、参加協力校は変更の可能性があります)</p>																
● 成績評価方法	<table border="0"> <tr> <td>出席(積極的な授業への参加)</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>ワークショップ内容のリサーチ</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>グループワーク (アンケート作成・集計、オンラインワークショップ企画書、グループ発表等)</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>リフレクティブジャーナル (コメントを含む)</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>事後レポート (個人目標やコンピテンシーの達成度、グローバルな人間関係について)</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>アンケート・その他の提出物 (APU ルーブリック、事後アンケート等)</td> <td>10%</td> </tr> </table>				出席(積極的な授業への参加)	10%	ワークショップ内容のリサーチ	5%	グループワーク (アンケート作成・集計、オンラインワークショップ企画書、グループ発表等)	25%	リフレクティブジャーナル (コメントを含む)	30%	事後レポート (個人目標やコンピテンシーの達成度、グローバルな人間関係について)	20%	アンケート・その他の提出物 (APU ルーブリック、事後アンケート等)	10%
出席(積極的な授業への参加)	10%															
ワークショップ内容のリサーチ	5%															
グループワーク (アンケート作成・集計、オンラインワークショップ企画書、グループ発表等)	25%															
リフレクティブジャーナル (コメントを含む)	30%															
事後レポート (個人目標やコンピテンシーの達成度、グローバルな人間関係について)	20%															
アンケート・その他の提出物 (APU ルーブリック、事後アンケート等)	10%															
● 学生への要望事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>● すべての授業およびオンラインワークショップに出席すること。やむを得ず授業を欠席・遅刻する場合 (減点) は、必ず事前に教員、アカデミック・オフィスに連絡すること。TOEFL や TOEIC の受験等は、授業を欠席・遅刻する理由として認めないので、計画的におこなうこと。</li> <li>● オンラインワークショップを通じて、参加者と友情を育み、理解を深めてほしい。体調管理を心がけ、柔軟な態度と広い心を持って交流に励み、学んだことをこれから自分が歩んでゆく人生の指針に加えられるよう、積極的に責任を持って行動してほしい。</li> </ul>															
● 教科書	参考資料はオンラインで配布します。															
● 参考文献																
● 上記以外																
● その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 募集人数: 21</li> <li>● 最少実施人数: 5</li> </ul>															